

トレーニングと作業指示書の最適化



拡張現実（AR）への接続による現場作業員の能率アップ

産業組織にとって、今日のビジネス環境で革新のペースが次第に高まるなかで遅れをとらない方法を模索するうえでまず第一に念頭に置くべき要素としては「社員の技能の質」が挙げられます。業界最高クラスの企業では、既に、従業員が各自の作業をより効率的に行えるようにするための支援を提供することを目的として技術ソリューションに資金を投下しています。かかるソリューションの例として、物理環境とデジタル環境を共に融合してトレーニングや知識の伝達および作業指示書に関する補助を提供することにより従業員の技能向上を達成するべく考案されている拡張現実（AR）が挙げられます。

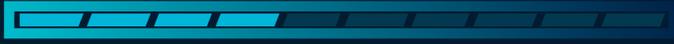
結果として、従業員の技能向上のためにARやその他のツールを活用している企業では、従業員のエンゲージメントや生産性および収益の向上が見られます

製造環境における拡張現実の実施

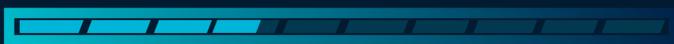
業界最高クラス: 63%



業界平均: 40%



ラグード: 37%

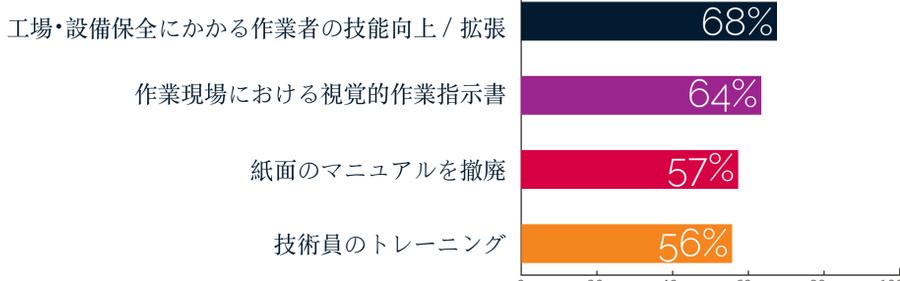


製造におけるARの使用事例

製造においてARを使用できる用途は多々ありますが、最も一般的な用途としては、バーチャルトレーニング課程による作業員の技能向上や、作業現場の従業員に対する視覚的な作業指示書の供給などが挙げられます。



製造環境におけるARの使用目的



企業の回答別割合 (%)

n = 403, 出典: アバディーン、2020年11月
